



あっぱりレマラソン2009(9月13日)

21議案を可決

市議会9月定例会は、8月28日から9月10日まで開催しました。一般質問では、会派代表の4人を含む11人が登壇(8〜18ページ参照)したほか、市国民健康保険条例の一部改正(出産育児一時金を4万円引き上げ)など、全21議案を、いずれも原案のとおり可決しました。

報告

◎八幡平市産業振興株式会社の経営状況報告について

昨年3月に第三セクター4社合併で誕生した同社の平成20年度経営状況を報告したものです。(1万円未満は四捨五入)

▼総務経理部(1億2410万円損失)：不動産販売は新規分譲2件と仲介3件。

新商品「山の舞童」を発売。20年度をもってほろほろ鳥販売から撤退。八幡平トラウトガーデン売買契約解除で特別損失8946万円

▼給湯事業部(3506万円)

：温泉開発は給湯収入が減り、別荘8棟建築で収入が増加。森乃湯は経費削減で収支改善

▼物産事業部(2360万円)：松尾八幡平物産館

あすぴーでは収入減少。道の駅にしね・生産物直売所はイベント開催などで収入

を回復。テレットラックは集客の伸び悩みを宴会などで補完。安比塗漆器工房は製品開発で収入確保

▼温泉事業部(1467万円損失)：岩手山焼走り国際交流村は管理費削減などで赤字改善。なかやま荘は入浴収入増の一方、食堂や宿泊

の収入減少で赤字増加。あずみの湯は収入増。安代林業センターは赤字改善

▼全体：1億159万円の損失(4社合計で18年度は271万円の損失、19年度は八幡平トラウトガーデン売却予定9380万円を含め4120万円の利益)

問 市議会6月定例会で報告するべきではないのか。

答 決算報告と事業計画を一緒に、との配慮から9月議会とした。検討したい。

問 第三セクターの修繕費に要する経費の考え方は。

答 10万円以上は市で、10(次ページ上段に続く)



万円未満は会社が負担する申し合わせをしている。

◎平成20年度決算に基づく八幡平市の健全化判断比率及び資金不足比率について

法律により、平成20年度決算に基づく市の健全化比率および資金不足比率を報告するものです。(詳しくは19頁参照)

問 実質公債費比率の健全化基準を超えれば、再建団体に指定されるという判断基準をどう思うか。

答 実質公債費比率の早期健全化基準は25%だが、15%から16%までを目標に運営したい。判断基準は国が法律で決めたものなので、受け入れなければならない。

全会一致で可決

◎八幡平市の消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

市消防団の組織再編(地区団長などの廃止)に伴い、団長の選任方法や階級を改めようとするものです。(9月1日施行)

◎八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例

政令に伴い、23年3月31日までの間、出産育児一時金を4万円加算し、39万円にしようとするものです。(10月1日施行)

◎八幡平市農業集落排水事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例

市農業集落排水事業の西根地域に田頭・平笠地区を追加し、併せて松尾地域と安代地域の区域表示を変更しようとするものです。(9月4日施行)

賛成多数で可決

◎八幡平市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

法律により、条例を定め、人事行政の運営等の状況を公表しようとするものです。(9月4日施行)

問 条文の中に「その他市長が必要と認める事項」とあるが、この表現は必要か。

答 想定外の事項が出てきた場合に備えたものである。

◎平成21年度八幡平市一般

会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ5億2957万4000円を追加したもので、このほか、特別会計4会計、事業会計1会計の補正予算は全会一致で可決しました。なお、主な内容は次のとおりです。

▼庁舎整備基金積立金2億円、財政調整基金積立金1億7000万円

▼第6回アジアバイアスロン選手権大会実行委員会補助金200万円

問 決算剰余金6億7000万円から、3億4000万円を基金に積み立てた根拠は。

答 地方財政法で、剰余金の2分の1以上を基金に積み立てるか、地方債の繰り上げ償還に充てなければならないためである。

問 庁舎建設基金が当初目標の10億円になる。今後も積み立てを続けるのか。

答 駅舎など、まだ見えない関連事業がある。それらを見て勘案したい。

問 新庁舎アクセス道路は、新市建設計画で9億5000万円とあるがその内容は。

答 事業費が固まり次第、

20年度決算など

9月定例会



あと約2年で埋め立て満了が予定される栗日影沢最終処分場

内容を示す。

問 新庁舎併設駅の詳細を明らかにしない理由は。

答 JR盛岡支社と協議しているが、計画に対するJR本社の反応が確認されていないためである。

問 ごみ最終処分場工事費の部を繰り越した理由は。

答 冬期間の土工は、工事に支障を来すので繰り越した。当初計画通り23年度に完成する予定である。

問 観光案内事業委託料の内容は。

答 国の雇用対策事業を活用し、観光関係の問い合わせ

せなどに対応する職員を1人追加する。

問 国道、県道など道路整備要望の見通しは。

答 着手予定のものもあるが、今後暫定税率廃止が想定され、国の道路整備予算の仕組みを懸念している。

問 田山スポーツゾーン整備は計画通り進めるのか。

答 体育館とプールは、それぞれ田山小学校の体育館とプール整備に変更したい。

問 名護市少年の船事業の内容は。

答 名護市の生徒約40人が本市で交流するものである。